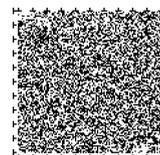


藤沢市
男女共同参画に関する市民意識調査
報告書

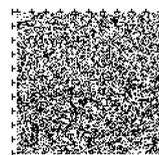
2019年(平成31年)3月

藤 沢 市



目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査方法と回収状況	3
3. 調査項目	3
4. 調査結果を見る上での注意事項	4
5. 調査結果の概要	5
第2章 調査結果の詳細	15
基本属性	17
(1) 性別	17
(2) 年齢	17
(3) 結婚の有無	17
(4) 配偶者・パートナーの就労状況と雇用状態	17
(5) 子どもの有無	18
(6) 一番下の子どもの年齢区分	18
(7) 介護が必要な同居家族の有無	18
(8) 同居の家族構成	18
A 男女の平等について	19
(1) 男女共同参画（社会）という言葉の認知状況	19
(2) 各分野における男女の地位・立場について	20
(3) 今後男女があらゆる分野で平等になるためにもっとも重要と思うこと	33
B 家庭生活について	34
(1) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について	34
(2) 「女性が職業をもつこと」についての考え	36
(3) 家庭における役割分担についての考え	39
(4) 家庭における役割分担の状況	50
C 仕事と家庭の両立について	52
(1) 就業状況	52
(2) 就業形態	52
(3) 雇用形態	53
(4) 実労働時間	53
(5) 通勤時間（往復）	54
(6) 産前産後休暇、育児休業、看護休暇、介護休業の取得の有無と取得希望	55
(7) 取得時の勤務先の対応（取得前・取得中・取得後）	62
(8) 以前の職業をやめた理由	64



(9) 自らの能力を発揮していきいきと働くために必要だと思うこと	65
(10) 生活や身の回りの環境の5年前との比較	67
(11) 介護休業・介護休暇の制度改正の認知状況	72
(12) 男女ともに育児休業・介護休業の取得が進まない理由	73
(13) ワーク・ライフ・バランスを実現するために必要だと思うこと	75
D 女性の活躍推進について	77
(1) 女性の活躍を進めたことによる影響	77
(2) 女性の活躍を進めるために必要なこと	79
E 社会参画について	81
(1) ボランティア活動や地域活動への参加状況	81
(2) ボランティア活動や地域活動をしていない理由	83
(3) ボランティア活動や地域活動に多くの市民が参加するために必要なこと	85
F 性の多様性について	87
(1) セクシュアル・マイノリティ（またはLGBT等）という言葉の認知状況	87
(2) 身体・心の性、性的指向に悩んだり、身近で悩んでいる人がいた経験	87
(3) セクシュアル・マイノリティの人にとって生活しづらい社会だと思うか	88
(4) セクシュアル・マイノリティの人に対する偏見・差別をなくし、生活しやすくなるために必要な対策	89
G 男女の人権について	90
(1) メディアにおける性表現・暴力表現についての考え	90
(2) 配偶者・パートナー間での暴力について	95
(3) 「デートDV」という言葉の認知状況	98
(4) セクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメントの経験	99
(5) 配偶者・恋人間での暴力に関する経験	101
(6) セクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメント等の被害を受けた際の相談の有無	103
①相談の有無	103
②相談先	104
③相談しなかった理由	105
(7) DV等の相談先として知っているもの	106
(8) 「DV相談窓口案内カード」の認知状況	107
(9) DVを防ぐために重要だと思うこと	109
H 男女共同参画に必要な施策について	111
(1) 「男女が共に生きる情報紙 かがやけ地球」の認知状況	111
(2) 男女共同参画社会を実現していくために行政に望むこと	112
(3) 男女共同参画社会を実現していくためにできること	114

調査票	117
-----	-----

